

2024年1月9日

報道関係者 各位

市中央部の新複合施設などの基本構想 第2版を公表

市中央部（大谷地区の総合スポーツセンター周辺）に、市内の福祉施設などを移転集約し、地域共生社会の実現につながる新たな複合施設を整備することで、誰もが行きやすく行きたくなる場所とすることを目指しています。

現在、設計の前段階として、複合施設の整備と対象エリアの土地利用に関する基本構想を策定しています。

5月に公表した基本構想第1版をたたき台にして、周辺住民説明会、関係者へのヒアリングなどで出された意見を基に、第2版を作成し公表しました。

基本構想の内容としては、第2版でおおよそ確定です。今後は、設計等で事業内容を精査し、2029年度の供用開始を目指して事業を進めていきます。

なお、詳細は別紙のとおりです。

1 移転集約施設

- ・社会福祉センター（社会福祉協議会）
- ・老人福祉センターナギの木苑
- ・男女共同参画・消費生活センターじよなさん
- ・コミュニティバスセンター
- ・西出張所（いきいきプラザ内）
- ・いきいきルーム等（いきいきプラザ内）

2 第1版からの主な変更点

- ・対象エリア内機能配置など、第1版の2案を基に新たな1案を作成
- ・複合施設の機能に「重層的支援体制整備事業」の取り組みを追加
- ・複合施設の各機能および災害時の機能を追加
- ・建物配置・イメージパースなどを追加
- ・事業費試算、事業スケジュール、事業手法および跡地活用策を追加

3 事業費試算

約70億円

【内訳】 新たな複合施設 約 50 億円

その他本件エリア内の改修 約 20 億円

※施設の移転集約を前提にした国庫補助金や財政上有利な市債制度を可能な限り活用します。

4 スケジュール

2024年度 設計、文化財調査

2025年度 設計

2026年度 着工

2029年度 供用開始

5 基本構想第2版の公表場所

- ・市ウェブサイト (<https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/shisei/shisei/1011403/1011829/1012240>)
- ・春日市役所（5階経営企画課、1階情報公開コーナー）

6 担当課 春日市経営企画部 経営企画課 企画担当 担当者名 有吉、松尾

春日市原町3丁目1番地5

TEL 092-584-1111(代) FAX 092-584-1145

E-mail kikaku@city.kasuga.fukuoka.jp

【リリースに関する問い合わせ】

春日市 経営企画部 秘書広報課 広報広聴担当

〒816-8501 福岡県春日市原町3-1-5

電話 092-584-1111(代) Fax 092-584-1145

E-mail koho@city.kasuga.fukuoka.jp Web <https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/>

(別紙)

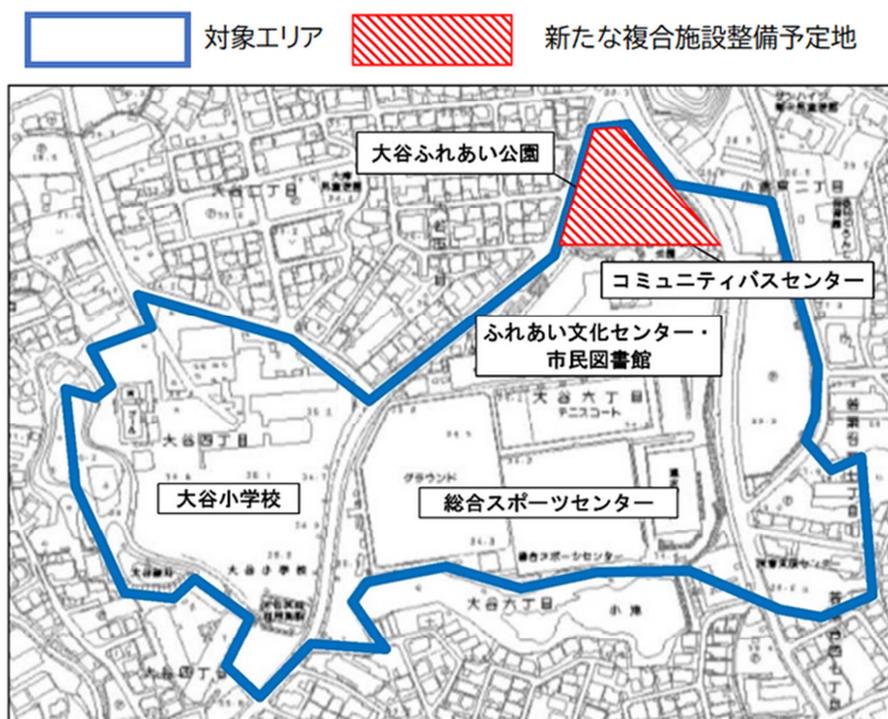
複合施設基本構想および土地利用基本構想（第2版）

1 移転集約施設

春日市公共施設等マネジメント計画で複合化の方針が示されているものを基本に、市内に点在し全市的な役割を持つ既存の福祉施設等を移転集約します。

施設名称	概要
社会福祉センター (春日市社会福祉協議会)	福祉関係業務を担うとともに、福祉団体の活動・交流の場でもあり、地域福祉推進のための拠点
老人福祉センターナギの木苑	高齢者の各種相談に応じるとともに、介護予防や健康づくり等のためのサービスを提供する施設
男女共同参画・消費生活センターじよなさん	男女共同参画を推進するため、各種講演、相談事業を行い、関係市民団体の支援等を図っている。また、消費生活の改善等のため、相談事業等を実施
コミュニティバスセンター	市内の公共施設等へのアクセス向上や高齢者や障がい者の社会参加支援等を図るコミュニティバス全7路線の発着地
西出張所 (いきいきプラザ内)	住民票、印鑑登録、戸籍、税務関係の証明書発行等が行える唯一の出張所。土日祝日も一部業務を実施
いきいきルーム等 (いきいきプラザ内)	介護予防等のための効果的な運動ができる施設。このほか、いきいきプラザ内で各種介護予防教室を実施

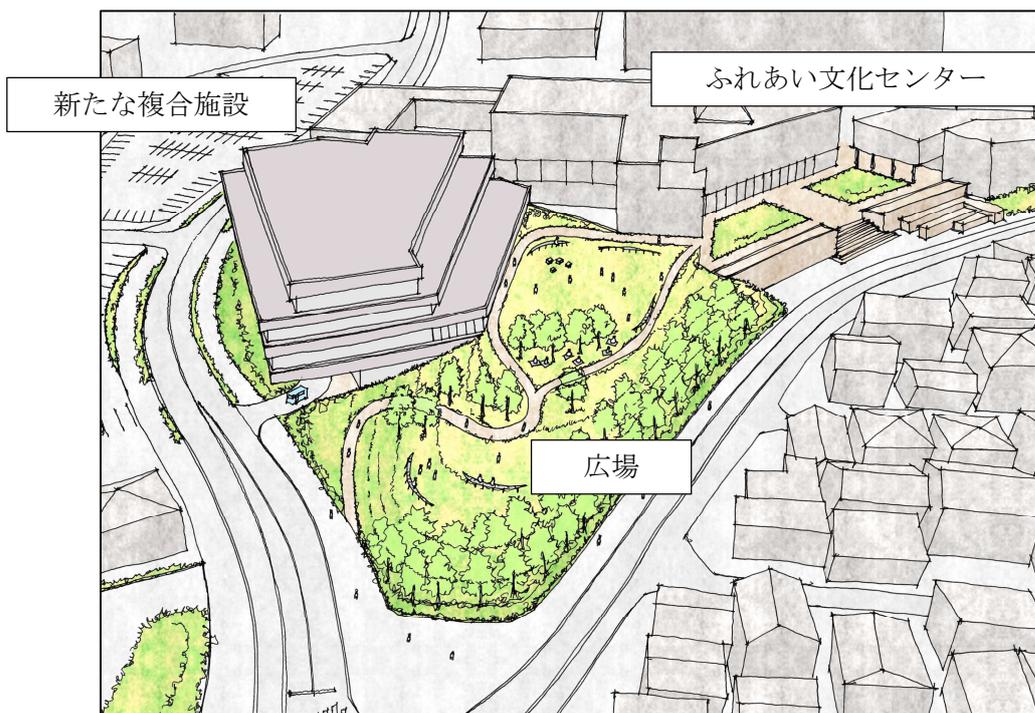
2 基本構想の対象エリア及び新たな複合施設の整備予定地



3 基本構想第2版（抜粋）

(1) 新たな複合施設の建物配置計画

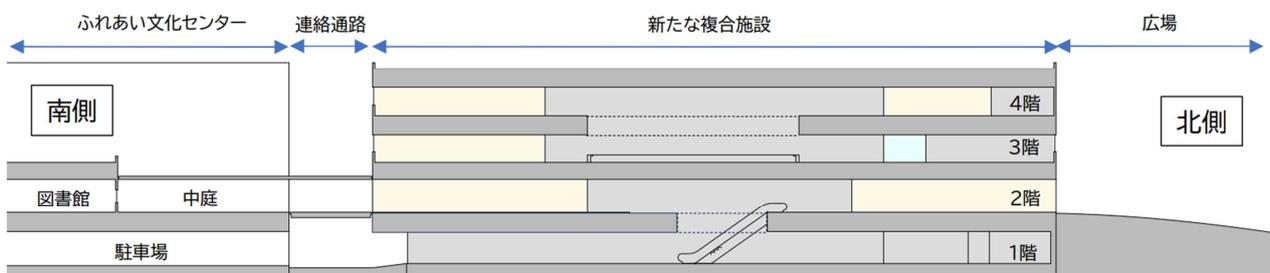
既存の山林部分をいったん造成し、新たな複合施設を整備します。その後西側に、年齢や障がいの有無に関わらず、多くの方が木陰でくつろぎ、緑に親しめる広場を設けます。また、南側に隣接するふれあい文化センターと連絡通路で接続します。



▲イメージパース図（エリア全体・鳥瞰）



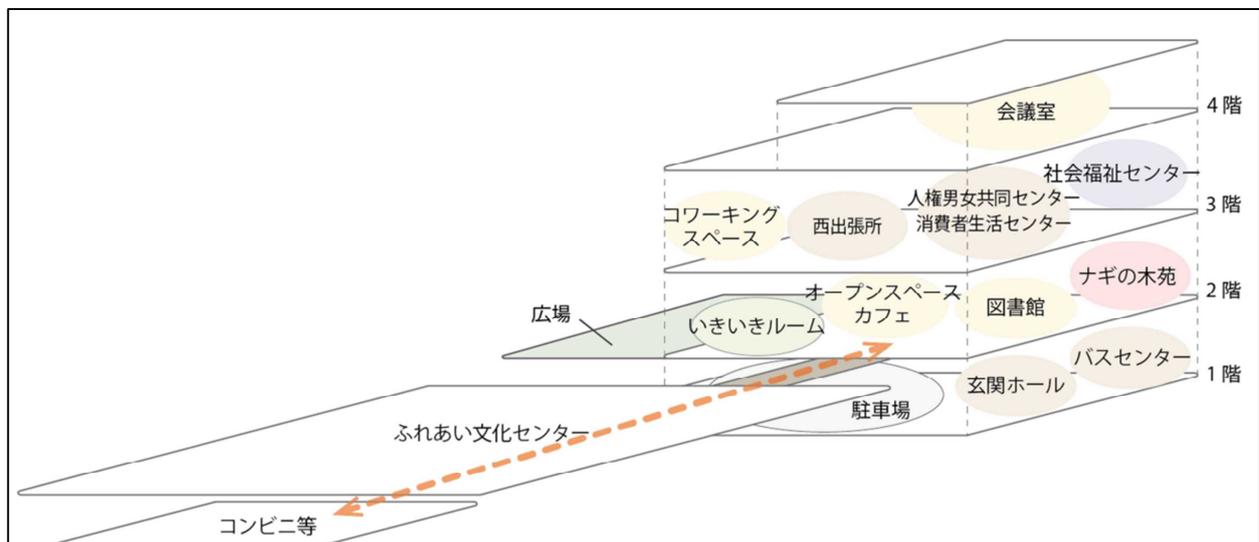
▲イメージパース図（広場から見た新たな複合施設・アイレベル）



▲南北断面図（新たな複合施設）

(2) 新たな複合施設の建物内機能配置

- ・ 1階 コミュニティバスセンター、駐車場
- ・ 2階 （ふれあい文化センターと直結）オープンスペース、カフェ、図書館分室、老人福祉センターナギの木苑
- ・ 3階 社会福祉センター、男女共同参画センター、消費生活センター、西出張所（窓口）、コワーキングスペース
- ・ 4階 会議室



(3) 新たな複合施設で取り組む新たな取組「重層的支援体制整備事業」

本市では、高齢者、障がい者、子ども・子育て、生活困窮の4つの相談・支援機関が専門性を生かして相談・支援を行ってきました。しかし、世帯全体として捉えると8050問題やダブルケア等、複合化・複雑化した課題は、分野ごとの縦割りの対応だけでは効果的な解決が難しい状況です。

複合化・複雑化した課題の解決に向けた支援を充実し、地域共生社会を推進するため、既存の取組に「属性を問わない相談支援」「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を加えて一体的に実施する「重層的支援体制整備事業」について、春日市社会福祉協議会とともに新たに取り組めます。

<具体的な主な取組>

① 福祉の総合相談窓口の設置

他の相談・支援機関で対応できていない福祉課題に関する相談を中心に、福祉の相談全般を受け付けます。相談内容により、他の専門機関につないだり、連携したりします。

② 相談・支援機関の連携強化

相談・支援機関による定期的な会議に加え、個別のケースにおいては、その他の関係者や関係機関とも随時連携を図ります。

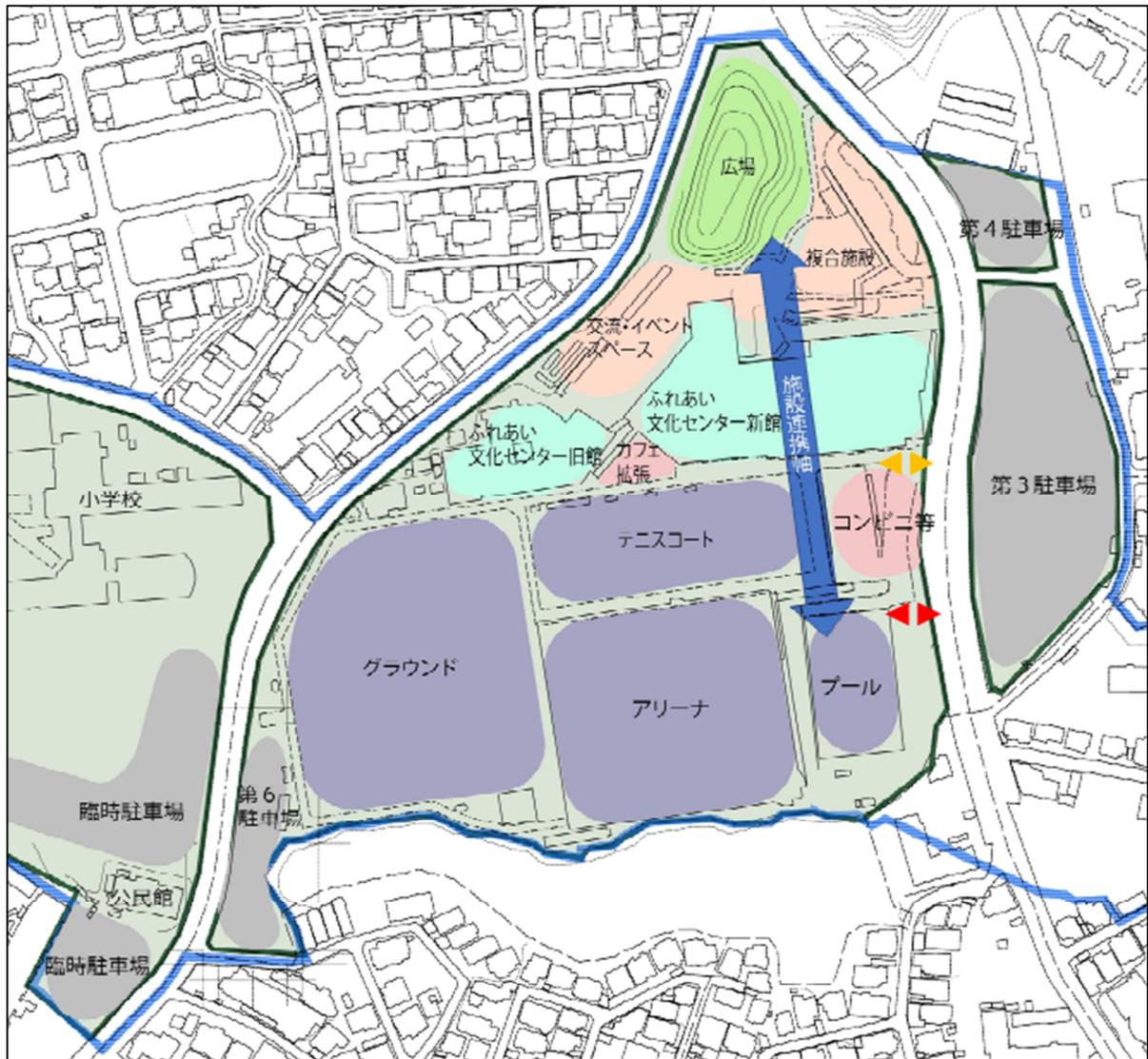
③ 複合化・複雑化した課題を抱える人への支援

他の相談・支援機関と連携しながら、アウトリーチ等を通じた継続的支援などを行います。

(4) エリア内機能配置計画

市民アンケートで要望が多かった飲食ニーズに応えるため、コンビニエンスストアを、エリア内外からのアクセス性が高い場所（下図「コンビニ等」）に整備するとともに、ふれあい文化センターの既存の「カフェ機能」も拡張します。

また、新たな複合施設とふれあい文化センター、総合スポーツセンターを直線的に分かりやすく繋ぐことで、施設の相互利用を促します。具体的には、新たな複合施設とふれあい文化センターをつなぐ連絡通路（デッキ等）に加え、市民図書館内にも連絡通路を整備します。



(5) 事業費試算

約 70 億円

【内訳】 新たな複合施設 約 50 億円

その他本件エリア内の改修 約 20 億円

※施設の移転集約を前提にした国庫補助金や財政上有利な市債制度を可能な限り活用します。

(6) スケジュール

2024年度	設計、文化財調査
2025年度	設計
2026年度	着工
2029年度	供用開始

3 基本構想第2版の公表場所

- ・市ウェブサイト

(<https://www.city.kasuga.fukuoka.jp/shisei/shisei/1011403/1011829/101224>)

- ・春日市役所（5階経営企画課、1階情報公開コーナー）